

市長所信表明



「新型コロナウイルス感染症」について

今年に入り、感染力が強いとされる「オミクロン株」により、新型コロナウイルスの感染が全国的に拡大し、2月3日には全国の感染者数が10万人を超えました。「オミクロン株は重症化しにくい」と言われておりますが、高齢者や基礎疾患をお持ちの方が重症化している事例も報告されており、子どもや若者を中心に家庭内や学校などでの感染が増えています。マスクの適切な着用や、手洗い・手指消毒・うがいといった「基本的な感染防止対策」の徹底を改めてお願いいたします。

一方、対策の決め手とされるワクチン接種は、市民の皆様のご理解や、医療機関の皆様のご協力により、昨年12月末時点で、本市の全人口の81%に当たる2万2418名の方が、2回目の接種を完了しております。また、感染予防効果や重症化予防効果を高める3回目の接種についても、医療従事者や高齢者施設に入所されている皆様に加え、1月31日から、65歳以上の高齢者の皆様を対象に接種を開始したところです。希望される市民の皆様が、一日も早く、確実に3回目の接種を受けられるよう、ワクチンの供給に並び、接種時期の前倒しを進めてまいります。1・2回目のワクチンと種類が異なるワクチンでの交互接種などを含め、早期の3回目接種をご検討いただきますようお願いいたします。

令和4年3月美馬市議会定例会は2月21日に開会し、藤田市長が市政の重要課題への対応について、所信を表明しました。その一部を掲載します。

令和4年度は「第3次総合計画・前期基本計画」の折り返しの年にあたります。「美しく駆ける 活躍都市 美馬」の実現に向け、国の施策とも連動させながら、これまでの2年間取り組んできた各施策をブラッシュアップさせるとともに、新たな課題への対応にも果敢にチャレンジしてまいります。

未来へつなげる！

市民の誰もが思いを実現し、健康で活躍できるまちづくり

「人生100年時代」美と健康のまちづくりプロジェクトについて

(二財)日本総合研究所と連携し、高齢化社会学と訳されるジェロントロジーの講演会やワークショップを開催するほか、美容や健康に関する各種事業に取り組みます。

ヴォルティスコンデイニングプログラムについて

感染対策を徹底しながら継続します。また、令和4年度は会場を「地域共生交流施設

小星ベース」に移します。「口コミ」で健康情報を伝える伝道師「健幸アンバサダー」の養成講座など、各種取組への参加と合わせ、多くの市民の皆様が施設のご利用をお願いいたします。

その他にも…

成年後見制度などを活用し、住み慣れた地域での生活を支援する「権利擁護基幹センター」を4月から本格稼働させるほか、令和5年9月の運営開始に向け、「学校給食センター」の建設に着手します。

未来の暮らしを守る！安全・安心、快適な環境で便利に生活できるまちづくり

木屋平地区における自家用有償旅客運送事業について

利用者に親しんでいただけよう、バスの愛称を「木屋平ラクバス」と決定しました。祝祭日を除く月・水・金曜日を運行日とし、自宅と木屋平複合施設の往復便、自宅と穴吹・脇町方面の往復便を運行ルートとしております。また、木屋平地区にお住まいの方の利用料金につきましては、片道1回につき500円とする

など、美馬ふれあいバスと同額の料金設定となっております。

吉野川浄園の移転に係る汚泥再生処理施設整備事業について

設計・施工・維持・管理運営を一括発注するDBO事業方式で実施する方針です。昨年末に、学識経験者を交えた審査委員会を立ち上げ、整備運営事業者の選定に向けた準備を進めています。今後、5月下旬に入札公告を行い、令和4年度中に整備運営事業者を決定した上で、令和5年度から、本格的な施設整備に取り組んでまいります。

元氣な美馬！賑わいがあり「ひと」と「しごと」が好循環するまちづくり

地域共生交流施設「小星ベース」について

美や健康に関係する取組のほか、昨年11月に協定を締結した(株)マイナビとの連携により、リーダー農業経営者育成講座を開催する予定です。また、移住交流促進拠点の敷地内には、IoTを活用した次世代水耕栽培施設を整備することとしており、農業とワーケーションを組み合わせたアグリワーケーションの拠点としても活用してまいります。

テレワーク促進施設（地域交流センターミライズ内）について

施設の利用者が、旅行や観光、体験などのコンテンツを、仕事とコラボレーションし、豊

かな時間を過ごすことをイメージし、愛称を「アンドワーク」と決定しました。今後、都市部企業との連携により、サテライトオフィスの更なる誘致と、テレワークの促進に取り組み、「ひと」と「しごと」の好循環を通じて、地域活性化につなげてまいります。

ロケツアーリズムによる観光プロモーションプロジェクト推進事業について

企業版ふるさと納税などの寄附を活用することとしておりますが、1月末日までに、企業11社から、4700万円の寄附の申し出をいただいております。ドラマ制作については、令和4年内の本市でのロケのクランクインに向けて、映像制作側との協議を進めており、ドラマに関連したツアーの造成や、コラボ商品の開発にも着手してまいります。

好きです美馬！市民が地域に愛着と誇りを持てるまちづくり

国指定史跡「郡里廃寺跡」の整備について

本年度に策定する「整備基本計画」に基づき、令和4年度から令和5年度にかけて、事業に係る設計業務に着手いたします。郡里廃寺跡の歴史や文化を活かし、継承するとともに、地域における交流の場となるよう「史跡公園」の整備を推進してまいります。

令和4年度当初予算(4~7ページ)もあわせてご覧ください。